



公益財団法人

大阪産業局

O.B.D.A.

OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY

ベトナム情報レポート（2022年4月25日）

（公財）大阪産業局 ベトナムビジネスサポートデスク
株式会社NCネットワーク

この4月、ベトナムの中でも最後まで対面授業の休止が続いていたハノイ市中心部の小学校、幼稚園で、ようやく対面授業が再開されました。昨年5月以降、実に1年ぶりということになります。

この1年間、全国の教育機関ではオンライン授業が続けられていましたが、特に低年齢の子供を抱える家庭や教育機関では、深刻な問題が起きました。まず、子供の面倒を誰が見るかという問題です。ベトナムでは基本的に両親は共働きで、朝早く出勤する親のために7時頃から幼稚園（日本の保育園の機能も含む）が開いており、希望すれば朝・昼・夕方の方の3食を幼稚園で食べさせることもできます。しかし幼稚園の閉鎖に伴い、乳幼児のいる家庭では、子供だけ田舎に帰して祖父母に面倒を見てもらったり、シッターを雇ったり、家で仕事をしながら子供を見なければなりません。小学生の場合、オンライン授業を受けるために大人のサポートが必要でしたが、それが得られない場合は学力低下につながりました。また、ハノイ市内の幼稚園は30%が私立校ですが、経営難に陥り、閉鎖を余儀なくされた幼稚園が500校以上ありました。先生や職員も長引く閉園で転職せざるを得ず、再開後元の職に戻らない人も多く、しばらくは人員確保が大きな課題となりそうです。

1年間、幼稚園や学校が閉鎖というのは日本では想像しにくいことです。ベトナムの教育サービス分野も大きな打撃を受けていますが、この対面授業再開を機に徐々に回復することを願っています。